SONY

4417897 02(1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書・保証書

Bluetooth®

RDP-NWG400B

品　名	アクティブスピーカーシステム
型　名	RDP-NWG400B
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 変な音、においがしたら
- 煙が出たら

➡

1. **ACアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。**
2. **お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号　**行為を禁止する記号**　**行為を指示する記号**

火災　感電　プラグをコンセントから抜く　指示

内部に水や異物を入れない。（禁止）

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。また、本製品を水滴のかかる場所に置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、本製品と一緒にソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。（接触禁止）

感電の原因となります。

指定以外のACアダプターを使わない。（禁止）

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない。（分解禁止）

本製品および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない。（ぬれ手禁止）

感電の原因となることがあります。

本製品やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない。（禁止）

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない。（禁止）

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。（禁止）

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ACアダプターを抜くときは、必ず電源コードのプラグ部を持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する。（指示）

本製品は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本製品の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

⚠注意　**下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

はじめからボリュームを上げすぎない 。（禁止）

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

医療機器の近くで使わない。（禁止）

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す。（注意）

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない。（禁止）

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品は、国内専用です。（指示）

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

通電中のACアダプターや製品に長時間ふれない。（禁止）

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

指定以外の機器に使わない。（禁止）

火災やけがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、ACアダプターをはずす。（プラグをコンセントから抜く）

長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れの際、ACアダプターを抜く。（プラグをコンセントから抜く）

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く。（禁止）

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する。（禁止）

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。
また、コードをACアダプターに巻き付けないでください。断線や故障の原因になります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池
リチウム電池 CR2025（リモコン用）

⚠危険　ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

電池を誤って交換すると爆発する危険があります。必ず同一タイプのものと交換してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところでは使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

機銘板は、本製品の底面に表示してあります。

Bluetooth機器について

機器認定について

本製品に内蔵のBluetoothモジュールは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本製品に内蔵のBluetoothモジュールを分解／改造すること
- 本製品に内蔵のBluetoothモジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. **本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。**
3. **不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書（裏面）をご覧ください。**

2.4FH1　この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

ACアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。
- 異常に高温になる場所
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
    変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所
  - 変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 安定していない場所
  製品が落ちてけがや故障の原因となります。

使用について

- ACアダプターをご使用の際は温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
  TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- ACアダプターやコード類の接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACアダプターや本製品を水のかかる場所や湿気のある所では使用しないでください。また、ACアダプターや本製品の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

“ウォークマン”のFMラジオのご使用に関して

本製品で“ウォークマン”のFMラジオをお聞きいただくことはできません（一部機種を除く）。

お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

Bluetooth無線技術について

Bluetooth®無線技術は、デジタルミュージックプレーヤーやステレオミニコンポなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で接続を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本製品は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。
対応Bluetoothバージョン:
Bluetooth標準規格Ver. 2.1+EDR*1準拠
対応Bluetoothプロファイル:
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）:高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP 1.3（Audio Video Remote Control Profile）:Bluetooth機器から本製品の音量調整を行う。

*1 Enhanced Data Rate の略

通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。
以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
- Bluetooth接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
- 本製品とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本製品およびBluetooth 機器の電源を切ってください。
- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- Bluetooth機能を使うには、相手側Bluetooth機器が本製品と同じプロファイルに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声･音楽再生に比べて、本製品での再生がわずかに遅れます。
- 本製品は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth無線通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品と接続するBluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、Bluetooth機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示･動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本製品と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

故障かな？と思ったら

本製品の調子がおかしいときは、修理に出す前に次のチェック項目をご覧になり、点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。
修理をご依頼の際は、不具合の原因の特定のため製品全体を点検する必要がありますので、ドックスピーカー、リモコン、ACアダプターをお持ちください。

音が出ない

- ドックスピーカーの電源が入っている（I/⏻（電源）ランプが緑色に点灯している）か確認する。また、再生機器の電源が入っているか確認する。
- 入力する機器に対応するファンクションランプがオレンジ色に点灯しているか確認する。
  点灯していない場合は、再生したい機器に対応するファンクションボタンを押してください。ファンクションボタンの位置は「各部のなまえ」をご覧ください。
- ドックスピーカーやリモコンで音量を調節する。
- 再生機器が再生状態になっているか確認する。再生機器の音量を調節する。
- ドックスピーカーと再生機器を正しく接続しているか確認する。AUDIO INジャックに再生機器を接続している場合はケーブルがしっかり接続されているか確認する。
- 再生機器がBluetooth機器の場合は以下を確認する。
  - 対象機種を使っているか。
  - ドックスピーカーとBluetooth機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか。
  - 正しくペアリングやBluetooth接続が行われているか。
    解決しない場合は別冊の「ワイヤレスで音楽を楽しもう」をご覧になり、再度ペアリングを行ってください。
- “ウォークマン”がWM-PORTプラグに接続されていて、WALKMANランプが点灯しているときに、“ウォークマン”の画面に「接続要求待ち」の表示がある場合は、“ウォークマン”を操作し、この状態を中止させる（お使いの“ウォークマン”にBACKキーがある場合はBACKキーを押す）。

音が小さい

- 再生機器がAUDIO INジャックに接続した機器やBluetooth接続した機器の場合は、再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。
  音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ドックスピーカーやリモコンで音量を調節する。

音がひずむ、または、音が途切れる

- 再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。
  音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 再生機器のバスブースト機能やイコライザー機能を無効にする。
- ドックスピーカーの音量を下げる。

音が割れる、またはノイズが出る

- ドックスピーカーと再生機器を正しく接続しているか確認する。
- 再生機器をテレビに近すぎる所に設置していないか確認する。
- 外部機器を接続しない時は、AUDIO INジャックから接続ケーブルを取りはずす。

ラジオなどが受信できない

- ラジオまたはTVチューナー内蔵機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。
- ドックスピーカーで“ウォークマン”のFMラジオをお聞きいただくことはできません（一部機種を除く）。

雑音が入る

- 携帯電話などをドックスピーカーから離して使用する。

ペアリングできない

- ドックスピーカーとBluetooth機器をなるべく近付けてからペアリングを行う。

Bluetooth接続ができない

- 相手側Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
- Bluetooth接続が切断されている。もう一度Bluetooth接続を開始する。

Bluetooth接続しているときに、音が途切れる
接続距離が短い

- 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れた場所で使用する。
- ドックスピーカーとBluetooth機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除く。
- ドックスピーカーとBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- ドックスピーカーの位置を変える。
- 接続相手のBluetooth機器の位置を変える。

Bluetoothスタンバイモードにならない

- ペアリング情報が登録されていません。Bluetooth接続したい機器とドックスピーカーのペアリングを行ってください。

映像より音が遅れる

- テレビや動画を見ている場合、音が映像より遅れて聞こえる場合があります。

“ウォークマン”の充電ができない

- “ウォークマン”がしっかり接続されているか確認する。

リモコンが動作しない

- リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。
- リモコン受光部が正しく受信できる方向にリモコンを向けているか確認する。
- リモコン受光部をふさがない。
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たらない場所で使用する。
- リモコンは、ドックスピーカーのなるべく近くで使用する。
- リモコンのBACK/HOME、OPTIONボタンに対応していない“ウォークマン”があります。対応機種についての詳細は、裏面の「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。
- “ウォークマン”がBluetooth接続されているときは、I/⏻（電源）ボタン、ファンクションボタン、VOLUMEボタン以外は操作できません。
- WM-PORTプラグに“ウォークマン”が接続されていて、WALKMAN ランプが点灯しているときに、“ウォークマン”の画面に「接続要求待ち」の表示がある場合は、“ウォークマン”を操作し、この状態を中止させる（お使いの“ウォークマン”にBACKキーがある場合はBACKキーを押す）。

ドックスピーカーの操作ができない

- 充電用USBジャックに対象外の機器を接続している。
  充電用USBジャックに対象外の機器が接続されていると、ドックスピーカーの操作ができなくなることがあります。充電用USBジャックから機器をはずしてください。

Bluetoothランプを除く全てのランプが点滅する

- ドックスピーカーの保護回路が動作していますので、ACアダプターをコンセントから抜き、再度接続し直してください。それでも正しく動作しない時は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。

大音量で電源が切れる

- 大音量で再生すると、保護回路が働き電源が切れることがあります。この場合は再度電源を入れ直してください。その際、ファンクションや音量は工場出荷時の設定に戻ります。

主な仕様

対応機種

WM-PORT搭載“ウォークマン”
Bluetooth® 搭載“ウォークマン”
“Sony Tablet™”
“Xperia™”などの一部スマートフォン
本製品の対応機種に関する詳細は、以下のホームページにてご確認ください。
http://www.sony.jp/walkman/acc/

スピーカー部

型式　メインユニット：密閉型
　ウーファーユニット：バスレフ型

スピーカーサイズ
　メインユニット：直径45 mm
　ウーファーユニット：直径70 mm

インピーダンス　メインユニット：8 Ω
　ウーファーユニット：8 Ω

アンプ部

実効出力　メイン部 5 W+5 W（全高調波歪10%、1kHz、8 Ω）
　ウーファー部 10 W（全高調波歪10%、100 Hz、8 Ω）
　（ACアダプター使用時）（JEITA）

入力　WM-PORTプラグ、AUDIO INジャック

入力インピーダンス
　AUDIO INジャック 35 kΩ（1kHz）

電源部・その他

電源　DC13 V 2 A（付属のACアダプターを接続してAC100-240 V電源から使用）

待機電力　電源スタンバイ時：約0.4 W / Bluetoothスタンバイ時：約0.6 W（ACアダプター使用時）

入出力端子　WM-PORTプラグ×1
　AUDIO INジャック（ステレオミニ）×1
　DC INジャック×1
　充電用USB-Aジャック×1

最大外形寸法　約360 × 112 × 104 mm（幅/高さ/奥行き）

質量　約1.5 kg

動作温度　5 ～ 35℃

同梱品

ドックスピーカー本体（1）
ACアダプター（1）
ACコード（1）
リモコン（1）
リチウム電池CR2025（1）（リモコン装着済み：お試し用）
取扱説明書・保証書（1）
ワイヤレスで音楽を楽しもう　“ウォークマン”Sシリーズ、Aシリーズ編（1）
ワイヤレスで音楽を楽しもう　Android™搭載“ウォークマン”編（1）

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

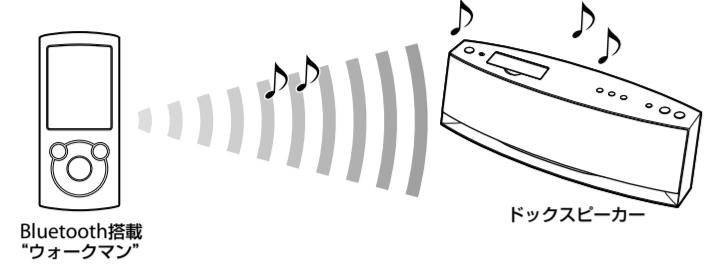
商標

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “Xperia”はSony Ericsson Mobile Communications ABの商標です。
- “Sony Tablet”は、ソニー株式会社の商標です。
- Android および AndroidロゴはGoogle Inc. の商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

裏面へつづく

こんなことができます

本製品は、Bluetooth無線技術を利用したアクティブスピーカーシステムです。
- Bluetooth搭載"ウォークマン" *などの音楽をワイヤレスで楽しむことができます。
- 電源を切っているときでもBluetooth搭載"ウォークマン"でBluetooth接続すると、ドックスピーカーの電源がオンになります(Bluetoothスタンバイ機能)。
- "ウォークマン"をWM-PORTプラグに接続して、音楽を楽しむことができます。
- WM-PORTプラグに接続した"ウォークマン"は音楽を聴きながら充電もできます。
- Bluetooth機能やWM-PORTプラグを持たない機器を接続できるAUDIO INジャックを搭載しています。
- 充電用USBジャックで"ウォークマン"やBluetoothヘッドホン MDR-NWBT10Nを充電できます。

* 接続する Bluetooth 機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

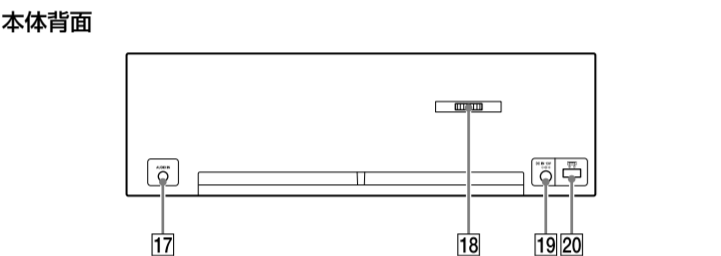
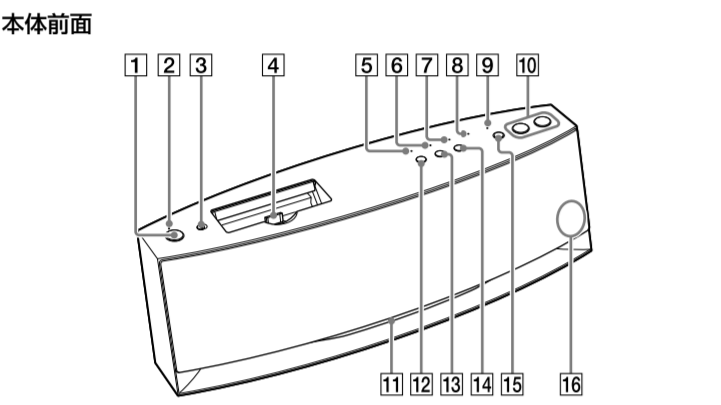
対応機種について

本製品の対応機種については、表面「主な仕様」の「対応機種」をご覧ください。

ご注意
- "ウォークマン"を接続したままドックスピーカーを持ち運ばないでください。
- 対応以外の"ウォークマン"を本製品に接続しないでください。本製品で対応していない"ウォークマン"を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している"ウォークマン"でも、本製品においてすべての操作ができるわけではありません。

各部のなまえ

本体前面

本体背面

1. **I/⏻（電源）ボタン**
2. **I/⏻（電源）ランプ**
3. **BLUETOOTH/STANDBY（Bluetooth スタンバイ）スイッチ**
   ONにすると、ドックスピーカーの電源が切れている間もBluetooth待ち受け状態になります。詳しくは「Bluetoothスタンバイ機能を使う」をご覧ください。
4. **WM-PORT プラグ**

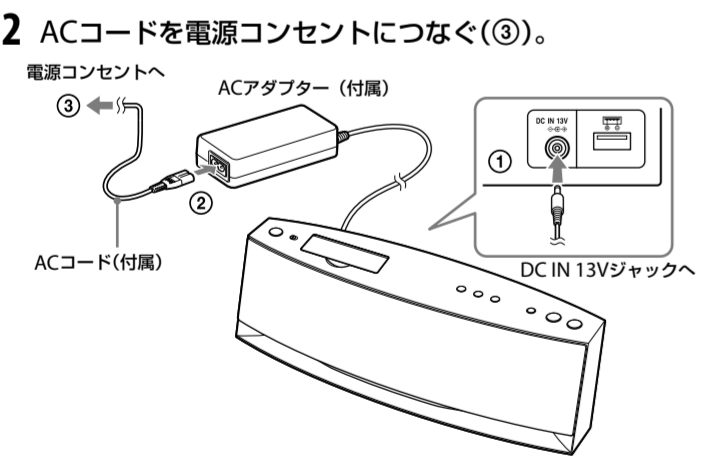
5 6 7 **ファンクションランプ**
- 5 **WALKMAN ランプ**
- 6 **AUDIO IN ランプ**
- 7 **BLUETOOTH/PAIRING ランプ**

8. **ʙ（Bluetooth）ランプ**
9. **BASS BOOST ランプ**
   BSASS BOOSTがオンになっているときに点灯します。
10. **VOLUME ボタン**
11. **エフェクトランプ**

12 13 14 **ファンクションボタン**
入力を切り換えます。
- 12 **WALKMAN ボタン**
- 13 **AUDIO IN ボタン**
- 14 **BLUETOOTH/PAIRING ボタン**

15. **BASS BOOST ボタン**
    BASS BOOSTをオン/オフします。オンにすると低音が強調されます。お買い上げ時はオンに設定されています。お好みに応じて切り換えてください。
16. **リモコン受光部**
17. **AUDIO IN ジャック**
18. **調整つまみ**
19. **DC IN13V ジャック**
20. **充電用 USB ジャック ***
    *充電専用です。

電源を準備する

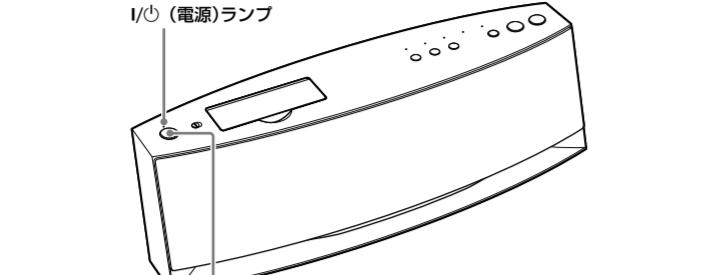
1 ACアダプターをドックスピーカーにつなぎ(①)、ACコードをACアダプターにつなぐ(②)。

2 ACコードを電源コンセントにつなぐ(③)。

ご注意
- AC アダプターを抜く際は、AC アダプターを抜く前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属の AC アダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターおよび AC コードは本機専用です。他の電気機器ではご使用になれません。

極性統一形プラグ

電源を入れる/切る

ドックスピーカーの電源を入れるには

1 ドックスピーカーまたはリモコンのI/⏻（電源）ボタンを押す。

電源が入るとI/⏻(電源)ランプが緑色に点灯します。
電源が入っているときは、ドックスピーカーを操作した際やリモコン操作受信時にエフェクトランプが点滅します。

ワイヤレスで音楽を聞く(Bluetooth接続をする)ときは、以下の方法でも電源を入れることができます。
　BLUETOOTH/STANDBYスイッチをONにして、"ウォークマン"やBluetooth機器からBluetooth接続を行う。
「Bluetoothスタンバイ機能を使う」をご覧ください。

ドックスピーカーの電源を切るには

1 ドックスピーカーまたはリモコンのI/⏻（電源）ボタンを押す。

電源が切れるとI/⏻(電源)ランプが消灯します。

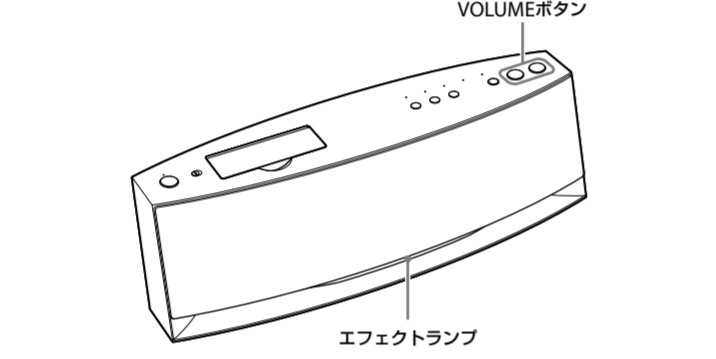
ちょっと一言
BLUETOOTH/STANDBY（Bluetoothスタンバイ）スイッチがONのときは、電源が切れていてもʙ(Bluetooth)ランプは青色に点滅します(ただし、ペアリング情報が無いときは点滅しません)。

ワイヤレスで音楽を聞く(Bluetooth接続している)ときは、以下の方法でも電源を切ることができます。
　"ウォークマン"やBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断する。
この場合、約1分後に電源が切れます。

なお、"ウォークマン"（またはAUDIO INジャックに接続された機器、Bluetooth接続された機器)の再生が停止してから約20分間何も操作しない場合や、ボリュームを最小のまま約20分間経過した場合にはドックスピーカーの電源は自動的に切れます。(ただし"ウォークマン"を充電中は20分で電源が切れない場合もあります。)

音量を調節する

音量は以下の方法で調節できます。
- ドックスピーカーのVOLUME＋/－ボタンを押す
- リモコンのVOLUME＋/－ボタンを押す

VOLUME＋/－ボタンを押すと、エフェクトランプが点滅します。

お使いのBluetooth機器によっては、Bluetooth接続時、Bluetooth機器で音量調節すると、ドックスピーカーの音量を調節することができるものがあります。ドックスピーカーの音量を調節すると、エフェクトランプが点滅します。
上記以外のBluetooth機器では、Bluetooth機器で音量調節すると、その機器自体の音量が変わります。このときはドックスピーカーの音量を操作しているわけではないので、音量が変わってもエフェクトランプは点滅しません。

ドックスピーカーのI/⏻（電源）ボタンで電源を切っても、その時の音量設定を記憶しています。ただし、ACコードをコンセントから抜いたり、ACアダプターをドックスピーカーから取りはずしたりした場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ワイヤレスで音楽を聞く（Bluetoothファンクション）

Bluetooth接続することにより、Bluetooth搭載"ウォークマン"などのBluetooth機器で再生する音楽をワイヤレスで楽しめます。
SシリーズやAシリーズの"ウォークマン"をお使いの場合は別冊「ワイヤレスで音楽を楽しもう　"ウォークマン" Sシリーズ、Aシリーズ編」をご覧ください。Android™搭載"ウォークマン"をお使いの場合は別冊「ワイヤレスで音楽を楽しもう　Android™搭載"ウォークマン"編」をご覧ください。
また、接続する"ウォークマン"やBluetooth機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

準備：機器登録(ペアリング)する

機器登録(ペアリング)とは

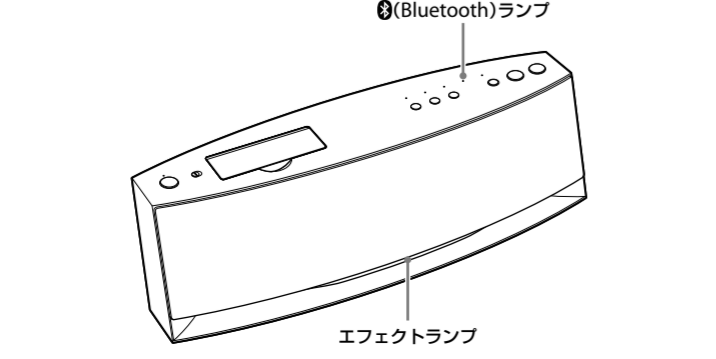
Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすると、ペアリング情報はBluetooth接続を切断してもドックスピーカーに残ります。**次回音楽を聞くときは、この操作は不要です。***
ペアリングは1台のBluetooth機器ごと1度だけ必要な操作です。複数のBluetooth機器をお使いの場合は、機器ごとにペアリングを行う必要があります。

*以下の場合は再度ペアリングが必要です。
- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 10台以上の機器をペアリングしたとき。
  ドックスピーカーは9台までの機器をペアリングすることができます。10台目の機器をペアリングすると、ペアリング済みの機器のうち、Bluetooth接続をした日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
- ペアリングしたBluetooth機器から、ドックスピーカーとのペアリング情報が削除されたとき。
- ドックスピーカーを初期化したとき。

ペアリングする

ドックスピーカーとBluetooth機器を初めてBluetooth接続するときに必要な操作です。

1 ドックスピーカーとBluetooth機器を1m以内に置き、それぞれの電源を入れる。

2 ドックスピーカーのBLUETOOTH/PAIRING ボタンを2秒以上押し続ける。
ドックスピーカーのʙ(Bluetooth)ランプ(青色)が速く点滅し始めたらボタンを離してください。ドックスピーカーがペアリングモードになります。

ちょっと一言
ドックスピーカーで初めてペアリングするときは、BLUETOOTH/PAIRINGボタンを押すだけで、ペアリングモードになります

3 Bluetooth機器でドックスピーカーの機器登録(ペアリング)を行う。
操作方法はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- 接続対象を選ぶ画面が表示されたら、"RDP-NWG400B"を選んでください。
- パスキー（パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります)を入力する画面が表示されたら、"0000"と入力してください。

ペアリングが完了すると、ʙ(Bluetooth)ランプやエフェクトランプが青色に点灯し、ペアリング情報がドックスピーカーに記録されます。
Bluetooth機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続した状態になります。その場合、続けて音楽を聞くときは、「音楽を聞く」-「1 Bluetooth接続する」の手順は不要です。

ご注意
- ペアリングが完了する前にドックスピーカーまたはBluetooth 機器の電源を切ると、ペアリング情報は記録されません。再度ペアリングを行ってください。
- ドックスピーカーのパスキーは「0000」に固定されています。パスキーが「0000」ではないBluetooth 機器とペアリングすることはできません。
- 画面がないBluetooth 機器や、検出した機器の一覧を表示できないBluetooth機器とペアリングするときは、ドックスピーカーとBluetooth機器の両方をペアリングモードにすることでペアリングできる場合があります。詳しくは、Bluetooth 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングモードを解除するには

ドックスピーカーで初めてペアリングを行っているときにペアリングモードを解除するには以下の操作を行います。
- WALKMANボタンまたはAUDIO INボタンを押す。
- ドックスピーカーの電源を切る。

2台め以降のペアリングを行っているときは、約5分後に自動的にペアリングモードが解除されます。手順が完了する前にペアリングモードが解除されてしまったら、もう一度手順2から操作を行ってください。

音楽を聞く

1 Bluetooth接続する

ワイヤレスで音楽を楽しむときは、音楽を再生する前に、ドックスピーカーとBluetooth機器をBluetooth接続しておく必要があります。
Bluetooth接続中はドックスピーカーのʙ(Bluetooth)ランプやエフェクトランプが青色に点灯します。
Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
Bluetooth接続中は利用できるリモコンのボタンが限られます。Bluetooth接続中に、"ウォークマン"をWM-PORTプラグに取り付けてもこの制限は変わりません。詳しくは「リモコンを使う」-「利用できるボタンについて」をご覧ください。

ちょっと一言
- "WALKMAN"ファンクションや"AUDIO IN"ファンクションになっていても、Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行うと、ドックスピーカーはBLUETOOTHファンクションに自動的に切り換わります。
- ドックスピーカーをBLUETOOTH ファンクションに切り換えると、約5秒間、最後に接続したBluetooth機器への接続を開始します。このときに、最後に接続したBluetooth機器がBluetooth接続要求状態になっている場合は、自動的にその機器とBluetooth接続されます。

2 音楽を再生する

① ʙ(Bluetooth)ランプが青色に点灯していることを確認する。
点灯していない場合はBluetooth接続されていません。「1 Bluetooth接続する」をご覧になって、Bluetooth接続してください。

② Bluetooth機器を操作して再生を開始する。

ご注意
Bluetooth機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると音がひずむことがあります。

ちょっと一言
"ウォークマン"によっては、"ウォークマン"の音量キーを操作することで、ドックスピーカーの音量を変えることができます(その場合、"ウォークマン"自体の音量は変わりません)。

Bluetooth接続を切断するには

以下のいずれかでBluetooth接続を切断できます。
- Bluetooth機器を操作して接続を切断する。
- ドックスピーカーのWALKMANボタンかAUDIO INボタンを押して入力を切り換える。
- Bluetooth機器またはドックスピーカーの電源を切る。
- ドックスピーカーをペアリングモードにする。

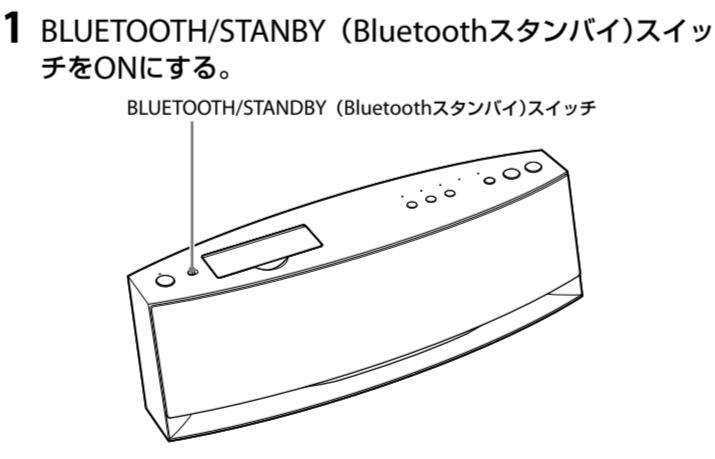
また、ドックスピーカーとBluetooth機器の距離が遠いときなど、電波が物理的に遮断される場合は自動的にBluetooth接続が切断されます。

Bluetoothスタンバイ機能について

Bluetoothスタンバイ機能を使うと、離れた場所からドックスピーカーの電源を入れて、ワイヤレスで音楽を楽しむことができます。

Bluetoothスタンバイ機能を使うには

ご注意
あらかじめBluetooth機器とドックスピーカーのペアリングを行ってください。

1 BLUETOOTH/STANBY（Bluetoothスタンバイ)スイッチをONにする。

電源を切ると、ドックスピーカーはBluetoothスタンバイモードに入り、ʙ(Bluetooth)ランプがゆっくり点滅します。

Bluetooth機器でドックスピーカーにBluetooth接続すると、自動的にドックスピーカーの電源が入り、Bluetooth接続で音声を聞くことができます。
Bluetooth機器でBluetooth接続を切断すると、ドックスピーカーは1分後に電源が切れます。

ちょっと一言
電源が切れている状態でBLUETOOTHスタンバイ機能を使って待機しているときは、電源を入れて待機している場合に比べて、消費電力を少なくできます。ただし、BLUETOOTHスタンバイ機能を使用しない場合に比べると消費電力は少し増えます。

ランプ表示について

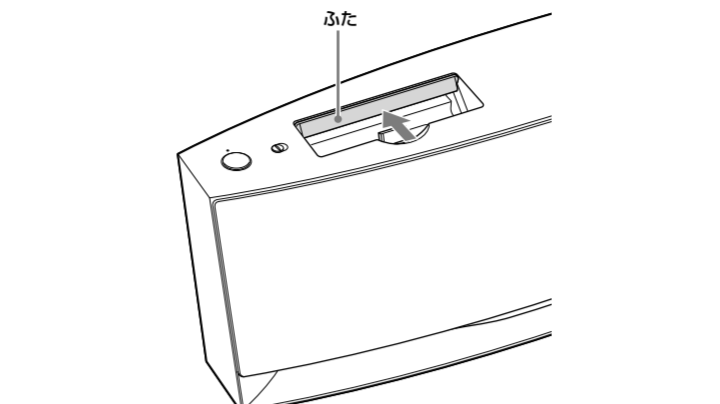
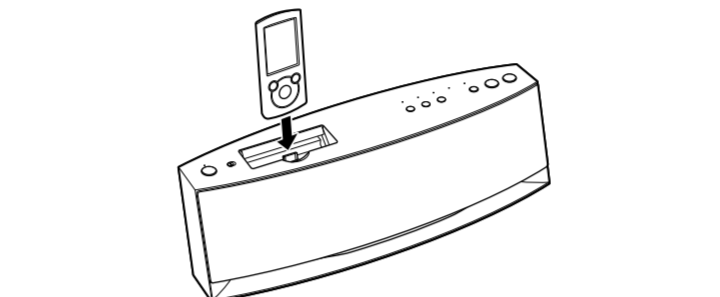
状態	ʙランプ（青色）	I/⏻ ランプ（緑色）
ペアリング中	速く点滅	点灯
Bluetooth 待ち受け中（電源オン時）	ゆっくり点滅	点灯
Bluetooth 待ち受け中（Bluetooth スタンバイ時）	ゆっくり点滅	消灯
Bluetooth 接続中	点灯	点灯

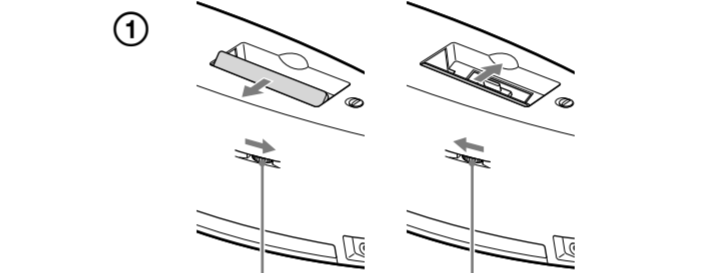
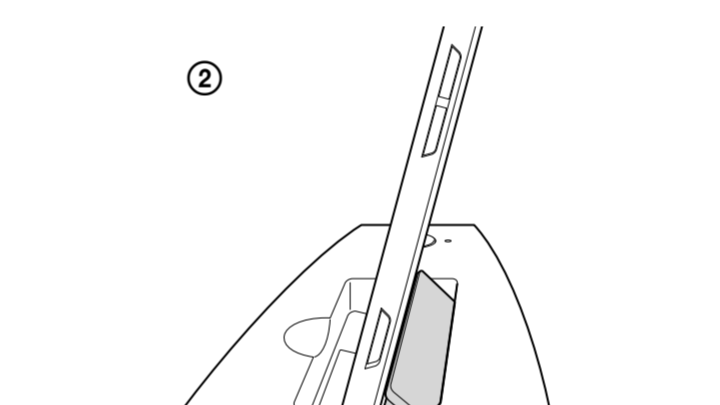
ちょっと一言
「ペアリング情報がひとつもないときにはʙランプは消灯したままです。

WM-PORTプラグに接続して音楽を聞く（WALKMANファンクション）

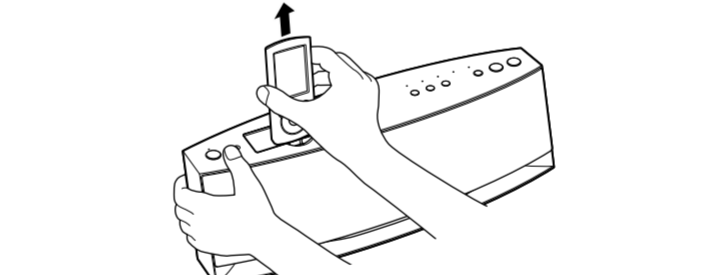
"ウォークマン"を接続する

ちょっと一言
"ウォークマン"にケースを付けたままでも接続できます。

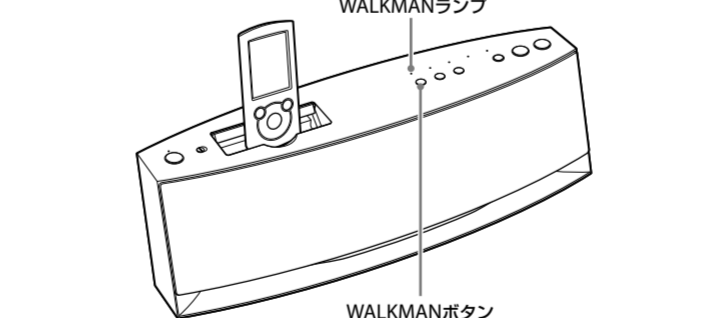
1 ふたを開ける。

2 ドックスピーカーのWM-PORTプラグに"ウォークマン"を接続する。

3 ドックスピーカー背面にある調整つまみを回して(①)、ふたが"ウォークマン"の背面にぴったりくっつくように調整する(②)。

ちょっと一言
ふたの位置調整は、"ウォークマン"を操作しやすくするために行うものです。一度調整を行えば次回からは調整不要です。ただし、異なるウォークマンをご使用になるときは再度ふたの位置を調整してください。

ご注意
- "ウォークマン"によっては、WM-PORT プラグに接続すると自然にふた側にたおれて、ふたにぴったりくっつくものがあります。その場合は、調整つまみを回す必要はありません。
- 調整つまみをまわしすぎてふたが前面にいきすぎると、"ウォークマン"をWM-PORT プラグに装着しづらくなります。その場合はつまみを逆方向に回してふたをドックスピーカーの背面方向へ動かしてください。

"ウォークマン"を取りはずすときは

ドックスピーカーをしっかり手で押さえて、取りはずす。

ご注意
- "ウォークマン"の接続および取りはずし時は、ドックスピーカーを WM-PORT プラグと同じ角度で"ウォークマン"を抜き差ししてください。"ウォークマン"を前後に倒して無理に取りはずそうとすると WM-PORT プラグが破損する恐れがあります。
- "ウォークマン"を取りはずす前に再生を一時停止してください。

音楽を再生する

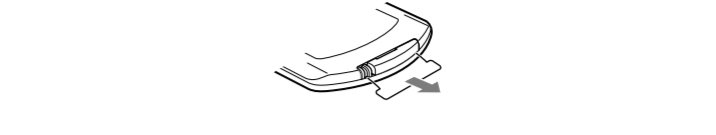
1 WALKMANボタンを押す。
WALKMANランプが点灯し、ファンクションが切り換わります。

2 リモコンの►IIボタンを押す。または"ウォークマン"を操作して再生を開始する。

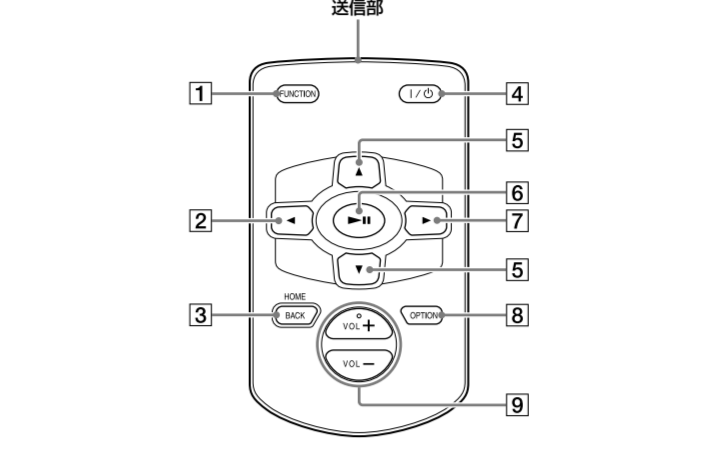
ご注意
- "ウォークマン"の状態によっては、リモコンの ►II（再生／一時停止）ボタンがはたらきません。その場合は、"ウォークマン"を操作して再生してください。

ちょっと一言
- お使いの"ウォークマン"によっては、"ウォークマン"の起動時にスピーカーからノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- ご使用の"ウォークマン"によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオンまたは調整されている場合がありますので、オフにしてください。
- "ウォークマン"接続中は、"ウォークマン"のヘッドホンからは音は出ません。

リモコンを使う

準備

付属のリモコンは出荷時には電池が入っています。初めてリモコンをお使いになるときは、絶縁フィルムを取り除いてください。

各部のなまえと機能

ドックスピーカー右下側のリモコン受光部にリモコンを向けてください。
リモコンからの受信時には、エフェクトランプが点滅します。

VOL＋と ►II ボタンに凸部(突起)がついています。

1 FUNCTIONボタン
- "ウォークマン"→AUDIO INジャックに接続した機器→Bluetooth接続した機器→"ウォークマン"・・・の順番で入力機器を切り替える。

2 ◄（早戻し）ボタン*
- 前の曲に戻る。再生中にこの操作を行うと現在再生中の曲の頭に戻る。前の曲に戻るには、ボタンを2回押す。
- 早戻しするときはボタンを長押しする。
- 一時停止中に"ウォークマン"の表示窓の再生時間を見ながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- メニュー項目を選ぶ。

3 BACK/HOMEボタン(長押しするとHOMEボタン機能になります)
- "ウォークマン"の表示窓でリスト画面の階層を上がったり、前の画面に戻ったりする。
- 長押しすると、ホームメニューに戻る。

4 I/⏻（電源)ボタン
- ドックスピーカーの電源を入/切する。

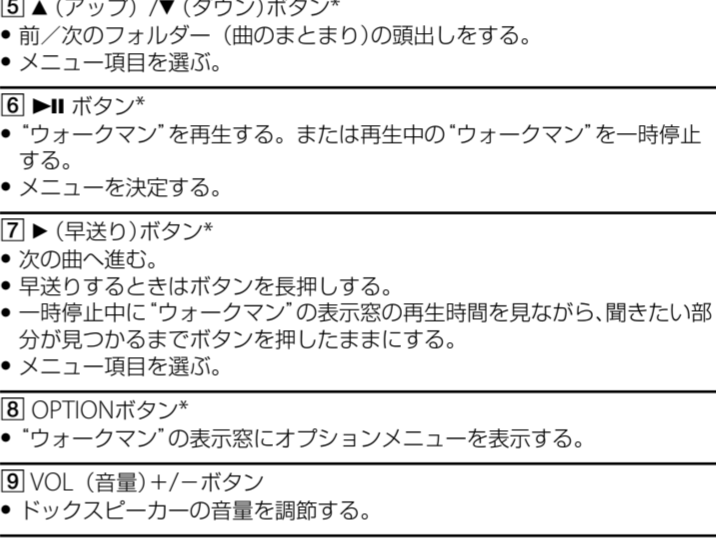
5 ▲（アップ）/▼（ダウン)ボタン*
- 前／次のフォルダー（曲のまとまり)の頭出しをする。
- メニュー項目を選ぶ。

6 ►II ボタン*
- "ウォークマン"を再生する。または再生中の"ウォークマン"を一時停止する。
- メニューを決定する。

7 ►（早送り)ボタン*
- 次の曲へ進む。
- 早送りするときはボタンを長押しする。
- 一時停止中に"ウォークマン"の表示窓の再生時間を見ながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- メニュー項目を選ぶ。

8 OPTIONボタン*
- "ウォークマン"の表示窓にオプションメニューを表示する。

9 VOL（音量)＋/－ボタン
- ドックスピーカーの音量を調節する。

* お使いの"ウォークマン"によっては対応していない機能があります。

利用できるボタンについて

ワイヤレス(Bluetooth接続)で使っているとき(BLUETOOTH/PAIRINGランプが点灯している間)は以下のボタンのみ操作できます。
- I/⏻（電源)ボタン
- FUNCTION ボタン
- VOL（音量)＋/－ボタン

ワイヤレス(Bluetooth接続)で使っているとき、および、WM-PORTプラグに接続して使っているとき、お使いの"ウォークマン"によっては、BACK/HOME、OPTIONボタンでの操作はできません。

リチウム電池を交換するときは

リモコンに入っているリチウム電池は、通常の使用では約6ヶ月持続します。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、新しいソニー製リチウム電池CR2025と交換してください。

電池に関する警告
- 長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。

AUDIO INジャックに接続して音楽を聞く（AUDIO INファンクション）

携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器をドックスピーカーに接続して、ドックスピーカーで音楽を楽しむことができます。接続する前にドックスピーカーと接続する機器の電源を切ってください。

1 ドックスピーカー背面のAUDIO INジャックと外部機器をオーディオケーブル(別売り)でしっかり接続する。

2 I/⏻（電源)ボタンを押して、ドックスピーカーの電源を入れる。
I/⏻（電源)ランプが点灯します。

3 ドックスピーカーに接続した外部機器の電源を入れる。

4 AUDIO INボタンを押す。

5 外部機器を操作して再生する。
ドックスピーカーから音が流れます。

ちょっと一言
外部機器で適切な音量に調節してください。適切な音量にならない場合は、ドックスピーカーのVOLUME +/–（またはリモコンのVOL +/–)ボタンで調節してください。

ご注意
- 使用できるオーディオケーブルは、外部機器によって異なります。接続する外部機器に適したケーブルを使用してください。
- 音量が小さい場合はまず外部機器の音量調節をしてください。それでも小さい場合にはドックスピーカーの音量を調節してください。
- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオやTV放送の受信ができなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。

"ウォークマン"を充電する

WM-PORTプラグから充電する

1 ドックスピーカーを電源に接続する。
詳しくは「電源を準備する」をご覧ください。

2 ドックスピーカーのWM-PORTプラグに"ウォークマン"を接続する。
接続のしかたは「"ウォークマン"を接続する」をご覧ください。ドックスピーカーの電源が入っていなくても、"ウォークマン"を接続すると自動的に充電が始まります。

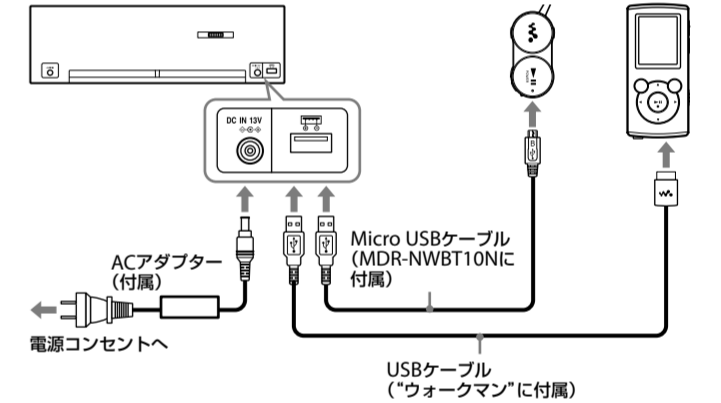
充電の状態についてはお使いの"ウォークマン"の取扱説明書をご覧ください。

充電用USBジャックから充電する

充電用USBジャックでは、"ウォークマン"やワイヤレスステレオヘッドホンMDR-NWBT10Nを充電することができます。

1 ドックスピーカーを電源に接続する。
詳しくは「電源を準備する」をご覧ください。

2 ドックスピーカー背面にある充電用USBジャックに、"ウォークマン"やワイヤレスステレオヘッドホンMDR-NWBT10Nを接続する。
ドックスピーカーの電源が入っていなくても、"ウォークマン"やワイヤレスステレオヘッドホンMDR-NWBT10Nを接続すると自動的に充電が始まります。

ご注意
- "ウォークマン"やワイヤレスステレオヘッドホン MDR-NWBT10N 以外の製品への充電は保証できません。
- 充電用 USB ジャックは、充電以外の目的ではご使用になれません。

ドックスピーカーを初期化する

ドックスピーカーをお買い上げ時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 ドックスピーカーの電源が入っているときは、I/⏻（電源）ボタンを押して、ドックスピーカーの電源を切る。

2 BLUETOOTH/PAIRINGボタンとI/⏻（電源)ボタンを同時に5秒以上押す。
I/⏻(電源)ランプとʙ(Bluetooth)（青色)ランプが同時に3回点滅し、初期化が完了します。

ご注意
初期化完了後、10秒間はACコードを抜かないでください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
- ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ
  (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ
  (下記電話・FAX番号)
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  – 型名：RDP-NWG400B
  – ご相談内容：できるだけ詳しく
  – お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	フリーダイヤル……0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
修理相談窓口	フリーダイヤル……0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531	

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389　ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1